

令和7年 第11回教育委員会 会議録

招集年月日	令和7年8月27日			
招集場所	日南町役場 第2会議室			
開会	午前11時00分 教育長宣告			
出席委員	青戸教育長	西村卓也職務代行者	三森厚子委員	米積真紀委員 山脇亜紀委員
欠席委員				
議案	日程第1 議案第40号 令和7年度日南町教育費9月補正（第3号）予算について 日程第2 議案第41号 日南町スポーツ推進委員を委嘱することについて			
議事日程				
議事の経過				
日程その他	発言者	発言の要旨		
挨拶	教育長	それでは、第11回教育委員会を開会する。		
事業報告及び行事予定	教育長 教育委員	※資料により内容説明 ここまで報告に質問はあるか。 なし。		
	教育長	議事録署名は、米積真紀委員。		
日程第1 議案第40号	教育長 事務局 教育長 教育委員 教育長	日程第1 議案第40号 令和7年度日南町教育費9月補正（第3号）予算について。 ※資料により内容説明 何か質問はあるか。 なし。		
		それでは、令和7年度日南町教育費9月補正予算を別紙のとおり日南町議会へ提出することについて承		

	教育委員	認を求める。 異議なし。
	教育長	日程第2 議案第41号 日南町スポーツ推進委員を委嘱することについて。
	事務局	※資料により候補者について説明
	教育長	何か質問はあるか。
	教育委員	候補者は町内在住歴は長いのか。
	事務局	地域おこし協力隊として、先日、移住して来られたばかりである。
	教育長	スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第32条第1項に基づき、下記の者を日南町スポーツ推進委員として委嘱することについて、承認を求める。
	教育委員	異議なし。
協議・報告	教育長	協議・報告 いじめ・不登校については、会議に先立って行った教育懇話会にて報告があり、教育委員も同席されていたため、この会では省略する。
	事務局	○幼児・学校教室 二十歳を祝う会の所管が今年度からまち未来創造課に移管された。幼児・学校教室長が、恩師として参列した。現在、町内ケーブルテレビ内で会の様子が放送されているので、ぜひ視聴いただきたい。 1泊2日で「サマースクール」を開催し、中学1年生1名、小学5年生3名が参加した。大学生ボランティア2名の支援を受けた。初日には、鳥取大学で工学部の学生や技術部職員による科学実験教室を行った動物医療センターを見学した。2日目は、鳥取県立美術館で対話型鑑賞をした後、BSS山陰放送の見学を行った。短い期間だが、児童、生徒の成長を感じた。 9月6日には、日南中学校体育祭があるので、ぜひ、参観いただきたい。
	事務局	○生涯学習室より

	事務局	今後、オンライン生涯学習講座を8月30日、10月10日に2講座、生涯学習講座を9月5日、国際理解講座を10月11日に開催予定である。また、社会教育委員会議として10月13日の図書館事業視察を行う予定である。
	教育長 教育委員	○人権センターより 8月19日新任教職員に対し、人権教育研修を行った。9月11日には、高齢者の人権をテーマに「ふれあい人権講座」を開催するので、ぜひ参加いただきたい。 報告事項または全体を通して、質問はあるか。 なし。
	教育委長	○教育委員会等の開催予定について 第12回 10月6日（月） 15時30分 第2会議室
その他	教育長 教育委員	本日の懇話会でも話題に上がったように、日南町として課題となっている学力や学習意欲の向上に向けて、家庭や地域を巻き込んだ形での策を考えていきたい。「園から中学校までが連携して、学力向上に向けてこうして取り組んでいる」ということが保護者や地域の方々に見える形にできればよい、とも思っている。そのために、園小中や教育委員からも意見を聞きながら進めていきたい。 サマースクールは良い事業だと思うが、小学校6年生の参加がなかったのは残念だ。こうした事業に参加しようとする積極性を身につけてもらいたい。
	教育長 教育委員 事務局	教育懇話会では、教育委員より不登校について意見をいただいた。 児童生徒、家庭が困っていることは、それぞれ違う。私たち地域住民がどうしたら良いか、わからない。一番困っているのは本人、その次に困っているのはその保護者である。学校としては、まず本人に対して学校ができる支援はなにか、そして本人や家族をどう支援していくか、を考えている。保護者に対しての支援は、ケースによっては外部に繋いだ方が良い場合もある。登校刺激を与えた方が本人にとって良い場合もあれば、無理をさせると家庭や学校との関係が崩れ、登校のきっかけがつくりづらくなるこ

		ともある。 学校としては「学校に登校してほしい」というのが一番の思いである。決して、「来なくて良い」というスタンスではない。 国や県もいろいろな施策をとっている。フリースクールに不登校の子どもたちが行き、勉強する姿も増えている。そこでは、学校と同じように活動することもできるので、そこに通うことも学校として認めている部分もある。こうして子どもたちにいろいろな場を作ることが大切だが、日南町ではそれができにくい。なお、県内でも、児童が自分たちでカリキュラムをつくって、自分たちで生活、勉強をする、といった施設がいくつかある。
	教育委員	せっかく日南町に生まれてこられたので、日南町でよい15年間を過ごしてほしいと思っている。少人数とはいえ、学校では家庭ではできない集団での生活ができるので、学校に来てほしいと思う。
	教育長	以上で第11回教育委員会を閉じる。

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会 教育委員